

平成22年3月新規高等学校卒業者の未就職者対策(新規)

雇用労働政策課
(H22. 2. 15)

【現状】 雇用情勢が厳しい中で、就職を希望しながらも就職が決まらないまま高校を卒業する者の増加が予想される

【背景】

◎就職内定状況
(内定率の低い都道府県)

	85%以下	85~90%	高知県
H14(3月末)	12	16	76.5%
H21(11月末)	46	1	65.8%
〃(12月末)	-	-	68.8%

◎進路の状況

	就職未定	進路未定	計	ハローワーク登録者
H14(3月末)	339	334	673	261
H21(12月末)	401	195	596	380

* H21のハローワーク登録者数は、労働局が把握する未内定者数(登録前)

14年全国の進路未定者の状況
公立・私立 約13万人
(公立のみ約9万人)

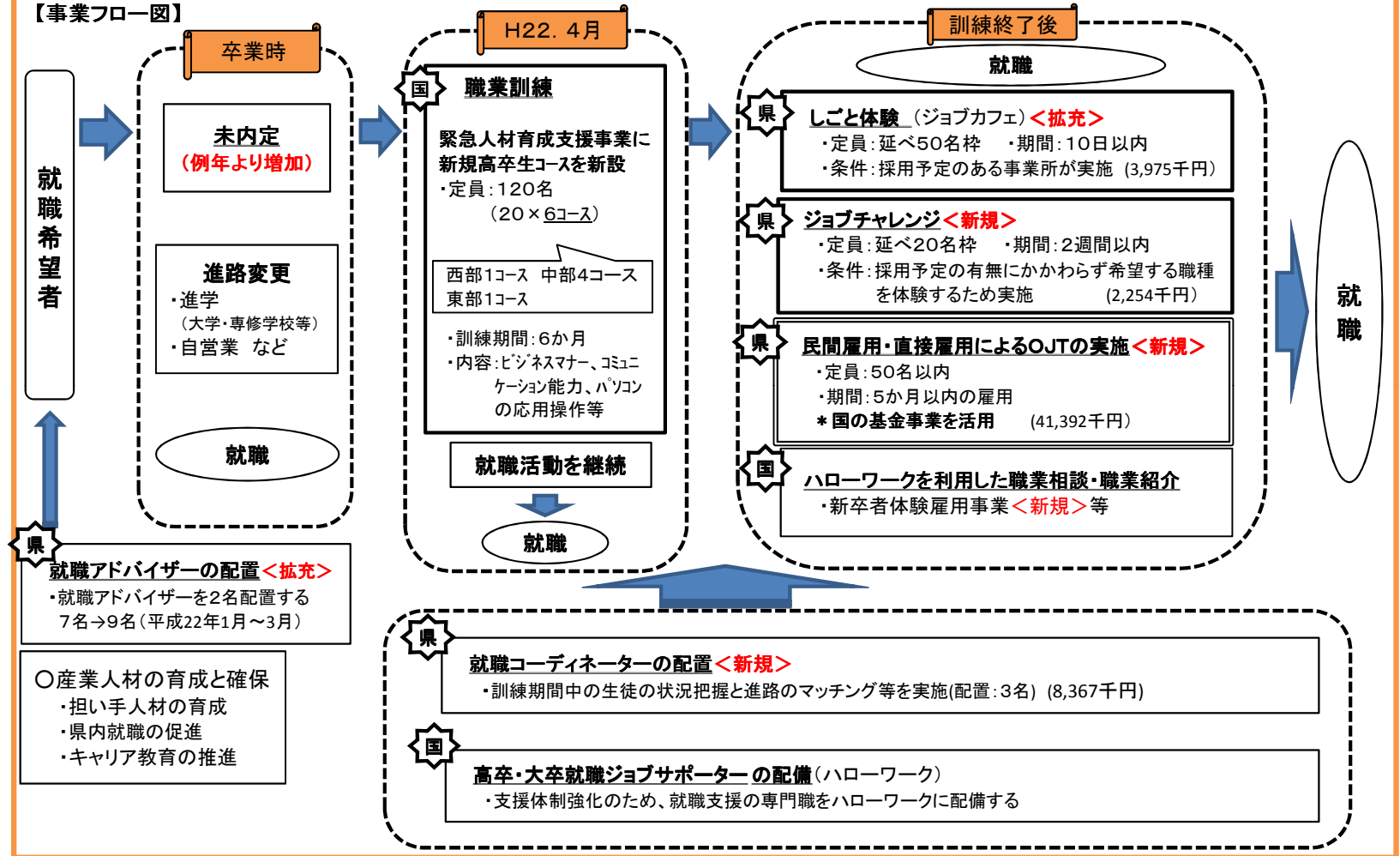
◎求人倍率の状況
(都道府県の分布状況)
(11月末)

	~0.4	~0.7	~1.0	1.0~	高知県
H14	7	14	12	14	0.38
H21	4	10	18	15	0.40

(全国平均 H14:0.90 H21:1.05)

このままでは、H14のような状況になる恐れ。

【事業フロー図】



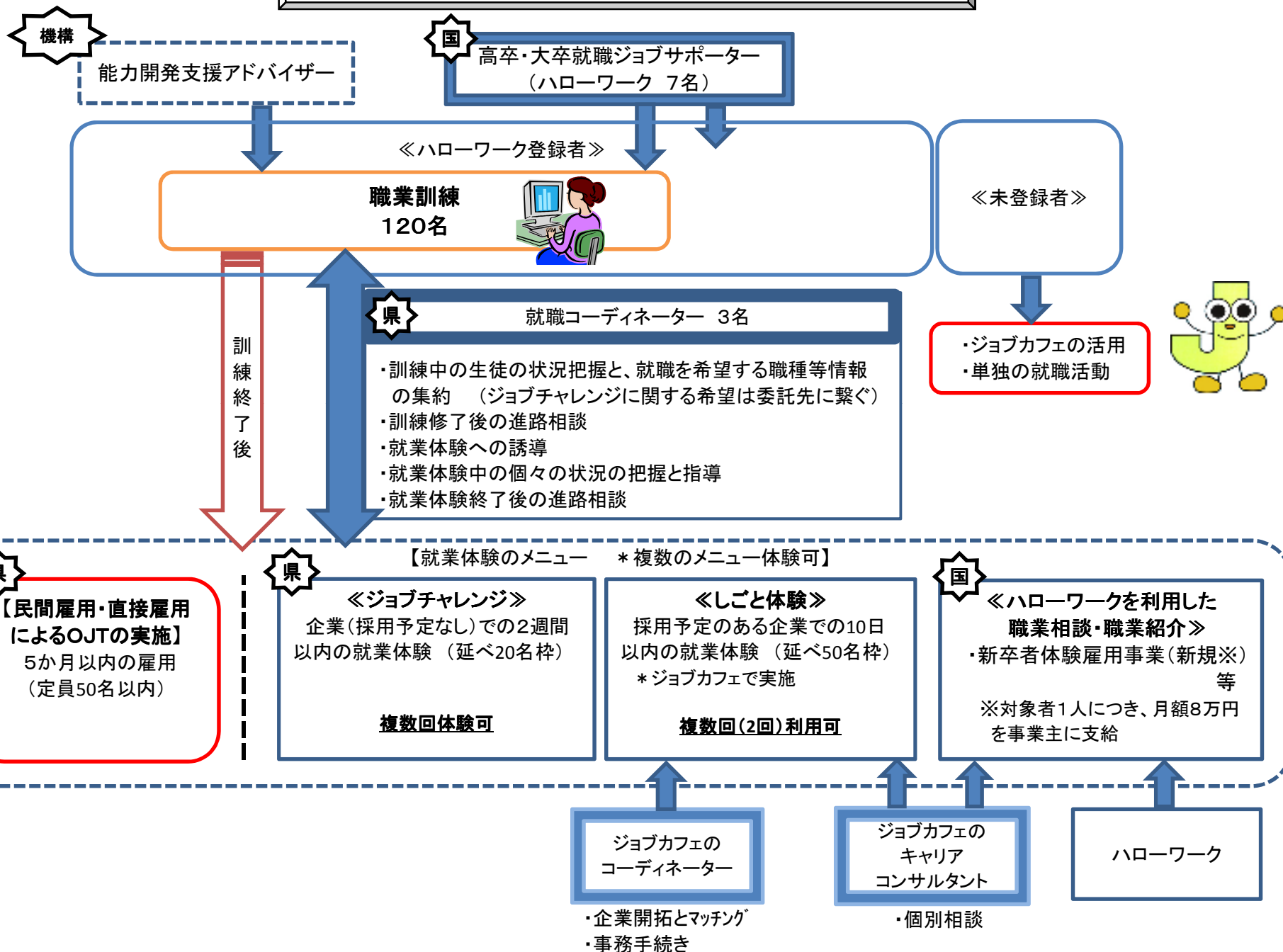
【効果】

職業訓練による未内定者の意識向上とスキルアップ及びそれに引き続く「しごと体験」など総合的な支援を行うとともに、就職コーディネーターによる生徒の状況把握と進路のマッチング等一連の取組により早期就職に繋げる。

【当初予算案】

- ◇(新)新規高卒者就職促進対策事業費 52,013千円
 - ・ジョブチャレンジ 2,254千円
 - ・民間雇用・直接雇用 41,392千円
 - ・就職コーディネーターの配置 8,367千円
- ◇(拡)就職支援相談センター事業費 うち 3,975千円
 - ・しごと体験 3,975千円

平成22年3月新規高卒未就職者への支援体制



新規高卒未就職者対策職業訓練の実施について

基金訓練

- ◆ 社会人としての心構えや就職に必要な基礎力を身につけます。
- ◆ 訓練期間中も積極的な就職活動が行えます。
- ◆ 仕事で必要とされるパソコン等のスキルを習得します。(Word・Excel等の資格が取れます。)
- ◆ 職業安定所(国)と就職コーディネーター(県)により訓練から就職まで一貫した支援が受けられます。
- ◆ 受講料は無料です。(但し、テキスト代及び資格検定受験料の実費は自己負担)
- ◆ 生活保障として訓練・生活支援給付金(10万円/月)が支給されます。(但し、一定要件〔世帯収入300万以下など〕を満たすことが必要なため、訓練申込時にハローワーク窓口で確認を受けてください。)

1. 対象者(次の全ての要件を満たすもの)

- ① 平成22年3月高等学校卒業者(私学も含む。)で高等学校からの推薦者
- ② 未就職者で、公共職業安定所に求職登録を行っている者
- ③ 就職意欲が高く、積極的に訓練を受講できる者

2. 募集期間 平成22年2月16日～平成22年3月8日

3. 訓練期間 平成22年4月上旬～10月上旬(6ヶ月間) 月～金の9:00～16:00

4. 訓練実施校及び定員 120名 (20名×6コース)

実施場所	訓練実施校	定員
高知市	アールスタッフ	20名
	高知ソフトウェアセンター	20名
	土佐情報経理専門学校	20名
	龍馬学園生涯学習健康センター	20名
安芸市	キャリアサポート	20名
四万十市	ユニコム具同スクール	20名

5. 訓練カリキュラム (注) 訓練実施校により訓練時間数やカリキュラムが若干異なります。

科 目		訓 練 の 内 容	時 間
行 事		入校式・修了式	各3H
学 科	ワークガイダンス 講習	コミュニケーション: 仲間の話を傾聴の態度で聴くことができる。 「きき方」と「話し方」や「会社における報告・連絡・相談について」など ビジネスマナー: 組織で働くということ。マナーの3原則。マナーの実践(身だしなみや挨拶など) 自己開示・対人関係: 第三者的に自分自身を語る方法。グループワークによるディスカッション。 仕事理解: 興味のある職業を見つける。労働条件の意味や内容を知る。企業が求める人材要件。 職業意識: 今後のキャリア形成。社会人としての職業観(人事担当者等の講演など)。	100H (90H以上)
	一般教養	時事問題・社会情勢等について	約50H
実 技	就職支援	職業ガイダンス・ハローワークでの求職活動・職業見学・職場体験・職業人講和等	50H (18H以上)
	Windows基本操作 インターネット	環境設定方法、ファイル操作とその重要性等。 効果的な情報取得方法、ビジネスでの適切なメール使用方法・エチケットの理解。	約30H
	アプリケーション基礎	【必須】Word基礎、ビジネス文書作成 Excel基礎、四則演算/関数、データベース 【任意】Powerpoint基礎、資料作成のテクニック AccessやHPの基礎 他	約300H
そ の 他		経理・財務の基礎(簿記) 営業の実務及び分析(営業技法・マーケティング概要・接客接遇・クレーム処理) 等	約150H
総 合 計 時 間			650～ 700H

新規高卒未就職者対策職業訓練の実施スケジュール

H22

- 1月15日 ○訓練実施校（6施設）が基金訓練実施について申請
※申請窓口の機構を經由して中央協会へ申請
- 職業訓練受講希望者数アンケート締切
- 1月28日 ○中央協会が訓練実施校に対し基金訓練実施について認可
- 2月上旬 ○教委が基金訓練への推薦者取りまとめを各高等学校に依頼
同様に県が私立学校に対し推薦者取りまとめを依頼
※訓練受講生募集チラシの配布
〔訓練実施校が作成→教委→高等学校→生徒及び保護者〕
〔必要に応じて高等学校による保護者への説明会開催〕
- 2月中旬 ○各高等学校が基金訓練受講かかる推薦者を決定
- 2月16日 ○訓練実施校が基金訓練受講生の募集を開始
※受講希望者本人がハローワークの窓口で受講申請
- ↓
- 3月8日 ○募集締切
- 締切後順次 ◎訓練実施校による選考会の実施（面接など）
→訓練実施校が訓練受講の可否を決定
- 3月18日 ○訓練実施校が訓練申込者へ可否決定を通知（合格発表日）
- 4月上旬 ○訓練実施校が基金訓練を開始

機 構：独立行政法人雇用・能力開発機構高知センター

中央協会：中央職業能力開発協会

教 委：県教育委員会事務局高等学校課

県：雇用労働政策課